

37級

第1回

文のつながり

「ブナの森は緑のダム」

月	日
---	---

全部できましたか?
☆ 個

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

樹

じゅ

(16画)

樹

じゅ

(16画)

樹

木

木

桜の木を植

する。

灰

はい

(6画)

灰

はい

(6画)

灰

火

山

色は白と黒を混ぜて作る。

縦

じゅう

(16画)

縦

じゅう

(16画)

縦

横

横

正方形の
と横の長さは等しい。**源**

げん

(13画)

源

げん

(13画)

資

源

パソコンの電
力を切る。

◇次の文を書きなさい。

例 将来は幼稚園の先生になる。これがわたしの希望です。

しょう来はようち園の先生になるのが、わたしの希望です。

一 八月になつたら海でキャンプします。これがわが家の夏休みの予定です。

の希望です

二 いつか宇宙飛行士になつて火星に行く。これがぼくの夢です。

ねる前にパソコンでメールをチェックする。これが父の大切な日課だ。

◇次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

★★★★★

一 ブナは、どんな種類の木ですか。一文をそのまま書きなさい。

ブナは、春から夏に円みのある葉をしげらせ、秋に葉を落とす、夏緑落葉広葉樹です。木のはだは、なめらかで灰色を帶びています。生長すると、高さは約二十五メートル、幹の太さは人の胸^{むね}くらいの高さのところで、直径一メートルにもなります。なかには、高さ三十メートル以上、直径一・八メートル以上になるものもあります。

ブナの木は、北海道南西部や東北地方では平地から山地にかけて分布し、それより南西の本州、四国、九州では標高七百メートル以上の山地に分布して、ブナの森をつくっています。

ブナの森とひと口に言いますが、ブナの木だけが生えているわけではありません。ブナの木と同じ落葉広葉樹である、ミズナラ、クリ、ケヤキ、トチノキ、カツラ、イタヤカエデ、ハリギリ、サワグルミ、ホオノキなど数多くの樹木が生えきそい、ブナの森を形成しているのです。

人々は遠い昔から、このブナの森を緑のダム、雪のダム、天然の水がめであると語り伝えて、大切にしてきました。

いったい、ブナの森のどこに、緑のダムや天然の水がめとよばれる仕組みがかくされているのでしょうか。



三 □の中にふさわしい言葉を書きなさい。

- ・木のはだ：

□で灰色を帶びたはだ

- ・生長した高さ…

- ・幹の太さ（人の胸くらいの高さで）：

□

ひと口に □ と言われていますが、ブナの木だけではなく、ブナの木と同じ

である、ミズナラ、クリ、ケヤキなど数多くの樹木が生えきそつています。このブナの森は、遠い昔

から人々に、□ 、□ 、□ 、□ であると語り伝えられ、□ さ

れてきました。

文のつながり

'ブナの森は緑のダム'

月 日

全部できましたか?

個

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

至

シ いたる

(6画)

至

(6画)

至

至

降

コウ ふる おりる

(10画)

降

(10画)

降

駅前でバスを

りた。

吸

キュウ すう

(6画)

吸

(6画)

吸

ハチが花の蜜を

う。

層

ソウ

(14画)

層

層

近くに高

そ

マンションが建つた。

地

層

降

下

至

急

◇次の文を書きなさい。

一 毎朝公園までジョギングする。これがわたしの習慣です。

二 かわいい犬と一緒に暮らす。これがわたしの~~ささやかな願い~~です。

三 世界中のめずらしいチョウを集めます。これが父の楽しみです。

四 休まずに百メートル泳ぎになる。これがぼくの課題です。

☆☆☆

◇次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。 ★★★★☆

日本有数の米どころとして知られる山形県の庄内平野で、この仕組みについて見てみましょう。

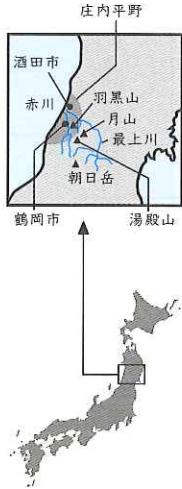
庄内平野には、大小いくつもの川が縦横に走り、絶えず豊かな水を流し続けています。庄内平野の米作りは、この豊かな水に支えられているのです。

この水を流し続いている川を水源地までさかのぼつてみました。すると、庄内平野の南側にそびえる朝日連峰や月山のブナの森に行き当たりました。

森に一步足をふみ入れてみると、おどろくことに至る所から水がわき、大小の沢が流れていきました。沢はあちこちの水を集め、谷川となつて流れ下り、やがて、赤川や最上川に注いでいたのです。

庄内平野をうるおす水の源は、ブナの森だったのです。では、なぜブナの森は、豊かな水を生むのでしょうか。

梅雨の季節、長雨の続くある日、ブナの森に入つてみました。森の空気はしつゝ氣で重く感じられます。こんなときはさぞ沢には水があふれているだろうと予想していましたが、春におとずれたときとあまり変わりませんでした。降った雨水はどこへ行つたのでしょうか。



一 庄内平野は何として知られていますか。

日本有数の

二 梅雨にブナの森に入ったとき、どんな予想をしていましたか。

と予想していました。

三 □の中にふさわしい言葉を書きなさい。

庄内平野を□に走り、水を流し続けている川の□までさかのぼつてみると、朝日連峰や月山の□に行き当たりました。ブナの森では、おどろくことに□の□の□を□を集め、□となつて赤川や最上水が□

川に□わき、□の□の□の□の□の□の□を□を集め、□となつて赤川や最上水が□

□だつ

ブナの森が、庄内平野をうるおす水の□

たのです。

文のつながり

「ブナの森は緑のダム」

月	日
---	---

全部できましたか?
☆ 個

◇次の漢字を書きなさい。☆☆

一 ブナはなめらかな
です。

色のはだをした広葉

二 平野を

横に走る川の水

流にさかのぼる。

三

急、連絡します。

四

森に

つた雨水をブナの木が

す
いこむ。

五

古い地

そ

から恐竜の化石が発掘された。

六

かれは、新しい知識を砂が水を

す
いこむよう

に

きゅう

収した。

◇次の文の□の中に最も適した助詞を後ろの()の中から選びなさい。ただし、助詞は一回ずつ用いること。

★★★

一 庭で犬□鳴いています。わたしの犬です。

二 わたしの犬の名前□シロです。

三 シロはドッグフード□食べません。

四 シロの散歩は朝七時□に出かけます。

五 シロはわたし□に、なついています。

六 わたしは犬だけでなく、ネコ□大好きです。

七 となりの犬とはけんか□して困っています。

も は

ばかり が

だけ

ます。

◇次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。☆☆☆☆☆

ブナの木を見上げてみました。天に向かつて枝葉を広げているブナの木はまるでじょうごのようです。雨水は、このじょうごに受け止められ、幹を伝つて、こけの生えた根もとにどんどん吸いこまれていきます。ブナの木の周りには、さまざまな木々の落ち葉が厚く積み重なつて、ふかふかしていました。

落ち葉でうめつくされた地面は、一步足をふみ出すたびに、水がじんわりしみ出できます。大量の雨水は、スポンジのような落ち葉の層がしつかり受け止めていたのです。

落ち葉の層の中には、土の中の生物やブナの根などが作り出します。これが雨水の貯水タンクの役目を果たしています。地中にしみこんだ雨水は、この貯水タンクにためられているのです。そして、土の中を時間をかけてゆっくり動き、地下水となつて少しずつ谷川に流れこんでいるのです。ですから、梅雨の長雨が大量に降つたときでも、川の水かさが急に増えたり、はんらんしたりすることがなかつたのです。ブナの森は、緑のダム、天然の水がめの役割を果たし、天然のバルブ役ともなつていたのです。

一 見上げてみたブナの木は、何のようでしたか。

でした。

二 大量の雨水は、何に受け止められていきましたか。

三 雨水の□の中にふさわしい言葉を書きなさい。

雨水の□の役目は、落ち葉の□

の下の中にある、土の中の生物や□などが作り出します。□が果たしています。

貯水タンクにためられた□は、土の中を

□をかけてゆっくり動き、□となつ

て少しずつ谷川に流れこんでいます。梅雨の□が大量に降つたときでも、ブナの森が天然の

□役になつて川の□が急に増えたり、はんらんしたりすることがなかつたのです。

文のつながり

「ブナの森は緑のダム」

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。



全部できましたか?
個

さらに、この緑のダムの仕組みを確かめるために、ブナの森の谷川に落ちこんでいる滝^{たき}の様子を一年間調べてみました。

春は、ブナの森から雪解け水が流れ出し、一年のうちに水量がいちばん多い時期でしたが、谷川の下流は洪水になるほどではありませんでした。夏の梅雨^{つゆ}の時期でも、水量はそれほど大はばに増えません。また、梅雨明け後の日照りが続く真夏でも、水は絶えることなく落ち続けていました。秋には、森の木々がだんだん葉を落とし始めますが、水の流れる量はありませんでした。冬は、雪にうもれた森では水がこおるので、水量は少し減りました。しかし、地下からわき出る水によつて滝は流れ続けていました。

ブナの森はこのように、大雨のときも日照りのときも川の水の量を大きく変化させることはありません。また、森がたくわえた水をゆっくり流し続け、川の水が絶えることがないこともわかりました。

今、この豊かな森が危機にさらされています。

ブナはもともとかたくて折れやすく、水を吸収^{しゅう}するところやすい欠点があります。そのため、炭やまきなど燃料にしか利用されず、建築材料としては、見向きも

されませんでした。

それに対して、スギやヒノキなどは、建築材としてすぐれています。そこで、ブナの木をどんどん切り、そこへスギやヒノキを植林しました。今ではさらに、雪の深い所、急な斜面^{しゃめん}、強い風のふきつける所など、スギやヒノキが育ちにくく所までも切り開いて、植林が進められています。

ところが、このような所では、植林された木が育たず、ススキや低木でおおわれたあれ地になつている所もあります。

植物は、もともとすみよい所を選んで根を下ろして、

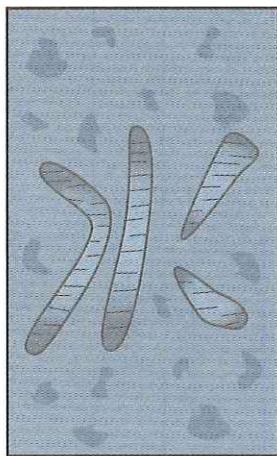
生きているのです。それを人間のつごうだけで切り開き、植林を進めた結果が、緑のダムの破かいにつながったのです。

こうして、ブナの森を失った地方では、洪水、土砂^{じさ}くずれ、異常な水がれなどが起こり、多くの人々に被害を

およぼしています。

ブナの森を歩いていると「田」「達農^{たつのう}」「山の神」「水神渕^{わち}」「水」などとほられたブナの大木を見ることがあります。これらの文字は、昔の人々が森に入るたびに、豊かな水の供給を願い、米の豊作を願つてほつたものにちがいありません。この文字にこめられた意味を知り、森を保護していくことを考えたいものです。

（太田　春「ブナの森は緑のダム」）



一 滝の様子を一年間調べたのは、何のためですか。

二 滝の水量を調査した時期はいつですか。

・ブナの森から
[] の時期
[] 時期

四 ブナの木が切られ、スギやヒノキが植林されたのはどうしてですか。

ブナはかたくて
[] するとくさりやすいために
[] 、水を

としては見向きもされないので対して、スギやヒ
ノキは建築材料として
[] いたから

です。
[]
[]
[]
[]

五 緑のダムの破かいは、何の結果もたらされましたか。

もともと
[] 所を選んで
[] を下ろして生きていた植物を、人間の
だけ切り開き、
[] を進めた結果です。

三 調査の結果、ブナの森は川の水の量をどうしましたか。一文をそのまま書きなさい。

六 ブナの森を失った地方では、どんなことが起こっていますか。

37 級

第5回

文のつながり

「三内丸山遺跡」

月	日
---	---

全部できましたか？
☆ 個

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

遺

(15画)

文化

産を大切にする。

暖

(13画)

かい部屋で休む。

推

(11画)

理小説を読む。

模

(14画)

様のカーテンを買った。

模

大規模

推

進

温

暖

遺

跡

例

阪神淡路大震災が発生した。それは一九九五年一月十七のことだった。

一月十七のことだった。

少年サッカー大会が開かれます。それは明日正午からです。

◇次の文を書きなさい。

阪神あわじ大震災が発生したのは一九九五年

三
二
一 天下分け目の関ヶ原の戦いが起こった。それは一六〇〇年のことだった。

ガガーリンが人類初の宇宙飛行士になった。それは一九六一年のことだ。

☆☆☆

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ☆☆☆☆☆

三内丸山遺跡は、青森市のこう外、標高約二十一メートルの小高いおかの上にある。

この遺跡は、今から五千五百年前から四千年前にかけてのきよ大な集落のあとである。この集落があつたのは、「縄文時代」と呼ばれる時代の後半に当たる。土の中には、された植物の花粉化石から、当時は現在よりも少し暖かく、海が内陸に入りこんでいて、この集落は海辺にあつたらしい。

これまでの調査結果から、三内丸山遺跡の特徴は、次の三つの言葉で表現できる。

第一は、「大きい」ということだ。縄文時代の集落は、ふつう少人数で小さいものだと考えられていたが、ここは集落全体の広さが野球場七個分もある。ただ大きいだけではなく、家やお墓などを作る場所が決められていて、土地の使い方の決まりがあつたようだ。

第二は、「永い」ということである。「ここに集落ができるたのは今から約五千五百年前で、なくなつたのが約四千年前と考へられていて、約千五百年間も続いた集落なのである。このことから、当時の人々は、同じ場所に、永い間定住生活をしていたことが分かる。

第三は、「多い」ということで、いろいろな物がたくさん出土したことである。その中には、ふつうは分解して残らない木の道具や、花粉・遺伝子などミクロの世界の情報もたくさんある。例えば植物の花粉を調べると、どんな植物がどこに生えていたか分かるし、当時の気候や自然環境を推定できる。



— 三内丸山遺跡は、いつの時代の遺跡ですか。 の後半 —

二 植物の花粉化石から、当時はどんな様子だといふことが分かりましたか。

三 □の中にふさわしい言葉を書きなさい。

三内丸山遺跡の特徴は、第一に、集落全体の

が野球場□もあるほど「

」という事。第二に、集落ができる約五千五百年前か

れど「」間、続いたとある。第三に、ふつうは分解して

た」ということ。第三に、ふつうは分解して

木の道具や、花粉・遺伝子など

の情報なども「」と/orいうことで表

現できる。

37 級

第6回

文のつながり

「三内丸山遺跡」
さんないまるやま
せき月 日
全部できましたか?
☆ 個

◇次の漢字と読みを書きなさい。☆☆

専

せん

(9画)

捨

しゃ

(11画)

捨

すてる

取

す

て

骨

コツ

(10画)

骨

ほね

針

シン

(10画)

針

はり

時計の

が十時をさした。

の折れる仕事をやりとげた。

針 方 折

ゴミ箱にゴミを

てる。

骨

骨

自分

用のパソコンを買つてもらつた。

自分

専門

専門

門

◇次の文を書きかえなさい。

例 新幹線がおくれている。それは、台風で電線が切れ停電がおきたからだ。

新幹線がおくれているのは、台風で電線が切れ停電がおきたからだ。

—長崎に出島をおいた。それは、オランダや中国などと交易するためだ。

停電がおきたからだ。

—江戸時代に踏絵が行われた。それは、キリストンを見つけるためだ。

氷山が海に浮いている。それは、水がこおると体積が増えるからだ。

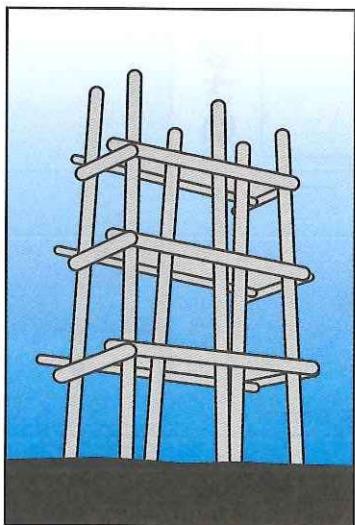
☆☆

◇次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。☆☆☆☆☆

さて、発くつ調査から、縄文人のどのような生活が分かつたのだろうか。

集落の北西のはしから、直径二メートル、深さも二メートルほどの大きな穴が六個見つかった。この穴は、四メートル二十センチメートル間かくで、三個ずつ二列に並んでいた。そしてこの中から、直径一メートルのクリの木を使った太い柱が出てきた。どうも相当な規模の建物のようだ。わたしたちは、この建物の高さや形を調べることにした。

まず、現在の森にある直径一メートルのクリの木は、高さが二十メートルほどであり、柱材としては十五メートルくらいが利用できることがわかった。また、遺跡の柱の真下の土は、周りの土に比べて色が変わっていることに気がついた。これはおそらく、長い間相当な重きがかかつて変化したものなので、この土を調べて、全体の重量を推定することにした。専門家の分せきでは、一平方メートル当たり七トンほどの圧力が加わっていたという結果が出た。これから、高さが十五メートルをこえる大型の高ゆか建物である可能性が高くなつた。



一 柱の穴はどんな様子でしたか。

・ 直径……

・ 深さ……

・ 間かく……

二 直径一メートルのクリの木から何メートルの柱材がとれますか。

三 □の中にふさわしい言葉を書きなさい。

発くつ調査から、大きな□が三個ずつに並んでいるのが見つかった。穴の中から木を使つた太い□が出てきた。柱の真下の土は色が変わつており、□の建物のものらしい□の分せきでは一平方メートル当たり七トンほどの□が加わつていたという□が出た。高さ十五メートルをこえる大型の高ゆか建物である□が高くなつた。

文のつながり

◇次の漢字を書きなさい。☆☆

「三内丸山遺跡」

月 日
全部できましたか? 個

◇次の文の□の中に最も適した助詞を後ろの()の中から選びなさい。ただし、助詞は一回ずつ用いること。

☆☆☆

一 ぼく □ 六年生になりました。

二 スポーツの中で、サッカー □ 一番好きです。

三 ぼくはスポーツだけではなく、パソコン □ 一番好きです。

四 パソコンでインターネット □ していません。

五 家族でインターネットをするのはぼく

六 弟はゲーム □ しません。

七 お母さんもインターネット □ していません。

八 いいのに思います。

九 もくらいしか □ ません。

十 だけがばかり □ ません。

十一 かくなるそ □ うだ。

十二 で作られた □ やつり た。

十三 て場の調査から、食生活もわかつた。

十四 ゴミ □ ほね す

十五 門家によると、大規 □ ほ

十六 跡から動物の □ い い。

十七 縄文時代の □ い い。

十八 見つかった。

十九 「三内丸山遺跡」

二十 月 日

廿一 全部できましたか?

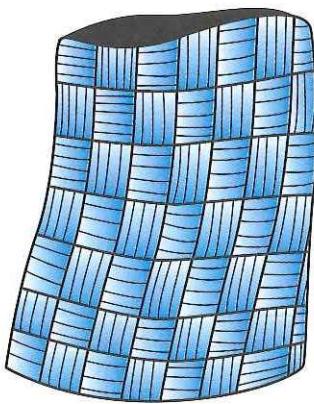
廿二 個

◇次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。 ★★★★★

また、長さ約三十二メートルの大型のたて穴式住居あとや広い道路あとも見つかったことから、縄文人は、わたしたちの想像以上のすぐれた技術を持っていたことが明らかになつた。

これらの建物は、とても一人でできるものではない。大勢の人々による共同作業によつてのみできるものだ。大規模な共同作業をするときにはリーダーがいたかもしれないし、専門家や技術者も必要だ。たくさんの人と組織、技術があつてこそできたのである。縄文時代は、そういうことができた時代であつたことになる。

ごみ捨て場を調べると、縄文時代の食生活が分かつた。しつ地に捨てられたごみは、くさらないでそのまま残つていた。そこから見つかった動物の骨は、シカ・イノシシなどの大型の動物が意外と少なく、ウサギ・ムササビなどの小動物や、ガンやカモなどの鳥類が多い。魚は豊富で、マダイ・ヒラメ・マグロ・ブリ・カレイ・アジ・イワシなどがある。



一 ごみ捨て場から何が分かりましたか。

二 しつ地で見つかった動物の骨で意外に少なかつたのは何の骨ですか。

三 どんな魚の骨がありましたか。

□の中にふさわしい言葉を書きなさい。

縄文人が、わたしたちの□以上にすぐれた技術を持つていたことは、大型の□あとから明らかになつた。

住居あとや広い□あとから明らかになつた。

これらの建物は、大勢の人々による

よるもので、たくさんの人と

があつてこそできたのである。縄文時代は、

ができた時代であつたことになる。

文のつながり

「三内丸山遺跡」

月 日

全部できましたか？

個

◇次の文章を読んで後の間に答えなさい。



植物では、クリ・クルミなどの木の実、ヤマブドウ・キイチゴ・サルナシ・ヤマグワ・ニワトコなどがたくさん出土している。食べられないニワトコは、お酒を作るのに使われた可能性がある。また、ヒヨウタン・マメ・ゴボウ・アサ・アカザなどの、人が手を貸さないと育たない植物の種子も発見された。このことから、当時、すでに植物のさいばいをしていたことが明らかになった。また、大量に出土したクリの花粉と、クリの実を分せきした結果、周の大規模なクリ林に働きかけ、手を加えてさいばいしたものであることが分かった。

こうして手に入れた食料は、土器でにこんだり焼いたりして、ハンバークやクッキーのようなものに調理されたようだ。縄文人の使った道具もたくさん出土した。木の道具ではうるしをぬった容器、弓、土をほるほりぼう、草で編んだふくろ、編み布、組みひもなどがある。骨角器では、針・つり針。もり先・骨刀などが出土した。いずれも、ついこの間まで使われていたように、光っているものばかりだ。

赤いうるしぬりのくし、土や石で作った耳かざり、ひすいのペンドントなどのアクセサリーもたくさん見つかった。縄文人はおしゃれだったのかもしれない。

大量的の土器が出土したことから、活発な土器作りが行われ

ていたと思われる。焼く時に失敗した土器や、材料のねん土を探る穴も発見されているので、ここで作られたものである。あまりにも多過ぎるので、ここで作られた土器や土ぐうがほかの集落へわたされた可能性もある。

また、ひすい（新潟県）・こはく（岩手県）・アスファルト（秋田県）・黒曜石（北海道・長野県）に見られるように、遠くから持ちこまれた物もたくさん出土している。遠方との交流・交易を活発に行い、ほかの集落とつながりを持つていたのだ。もちろん、ふねを使つた海上交通が中心である。

縄文時代はしゆりょう・採集・移動の生活と考えられたが、そろそろ見直す必要があることを、この三内丸山遺跡は教えてくれた。これまで、しゆりょう・採集の縄文時代集落は原始的で小さく、生活は未発達と考えられていたが、遺跡の発くつ調査を通して、縄文人の生活は、豊かであったことが分かった。

それを支えたのは、前の陸奥湾と、後ろに広がる森林からもたらされた自然の豊かな幸である。青い海と青い森が支えたのである。

縄文人の生活を考えるとき、現代社会に生きるわたしたちの生活をふり返らざるを得ないことに気づく。遺跡の情報は過去のものであるが、それを受け止めることのできるのは、常にその時代に生きる人間であることを忘れてはならない。



（岡田 康博「三内丸山遺跡」）

一 当時、すでに植物のさいばいをしていたことはどうして明らかになりましたか。

二 手に入れた食料は、どんなものに調理されましたか。

三 繩文人はおしゃれだったのかもしないと書かれて

いますが、その理由を表す一文をそのまま書きなさい。

六

三内丸山遺跡が発くつされるまでは、縄文時代はどんな生活だと考えられていましたか。

と考えられてきた。

七 縄文人の豊かな生活を支えたものは、何だったのですか。一文をそのまま書きなさい。

四 土器がここで作られたものであることは、どうして分かりましたか。

五 遠方との交流・交易が活発に行われていたことは、どうして分かりましたか。